



「多文化共生広場」で、ポルトガル語の絵本を読み聞かせてもらうブラジル人と進修学園の子どもたち＝武生市の同学園で

# 日本とブラジル子ども同士、心通わせて

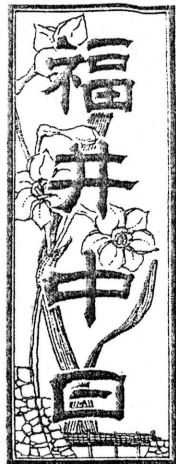
国籍を超えて子どもたちが心通わせる場にと、武生市芝原二丁目の児童養護施設・市立進修学園に二十七日、「多文化共生広場」がオープンした。百人を超す日系ブラジル人の子どもが住む武生。いじめ被害などブラジル人市民の教育問題が深刻化しており、学園では「広場が安らぎや触れ合いの場になれば」と期待している。

## 生 教育問題解決探り 武 共生広場オープン

武生市には、千人以上の日 集団でいじめに遭ったケースが になってしまっ子どももいる。系ブラジル人が暮らしている 目立つようになった。不登校 教育面でさまざまな問題を抱える。十五歳以下の子どもは約 の子どもは二十人前後おり、えるブラジル人の親子は多い百三十人で、このうち市内の 層間、アパートに数人が集ま が、悩みを打ち明けたり、解保育所に約四十人、小中学校 り、テレビを見たり、テレビ 決策を話し合ったりする場はには約四十人が通園・通学し ゲームをしたりして過ごす事 ない。

例もあるという。 こうした実情を知り、市の 保育所や学校にブラジル人 両親が共働きの長時間労働 国際交流担当や進修学園の職 員らが相談。学園内の施設を 利用し、ブラジル人市民同士 業についていけなかったり、 くなり、親との関係が希薄に だけでなく、国籍を超えた市 だ。

民交流の場を提供することを 思いついた。 日本語の勉強会、ポルトガ ル語やブラジルの文化の学 習、調理室でのいそご料理 講習、体育館でのスポーツ交 流など。学園の子どもたちと の活動のほか、定期的に市内 の小学生を招き、異文化体験 させるアイデアもあるが、学 園では「行政から押し付ける のでなく、運営方法などこれ から利用者と職員が一緒に考 えていきたい」と話す。 オープンの日には、ブラジ ル人の親子約三十人が参加し た。広場の誕生を記念して、 昨年八月に市国際交流協会に 合流したボランティアアクルー プ「たけ」国際交流の会」の 代表だったス波美津子さん が、会が所有していたポルト ガル語の絵本など約五十冊を 寄贈。子どもたちは早速、読 み聞かせてもらい、母国の重 話の世界に夢中になってい



福井支社
福井市大手 3
(〒910-0005)
0776 (22)0950
FAX 0776 (25)3178
(広告)(21)3590
敦賀支局
敦賀市三島町 1
(〒914-0058)
0770 (23)2531
FAX 0770 (24)1456
武生通信局
武生市千福町 21
0778 (22)5555
FAX 0778 (24)4755
小浜通信局
小浜市大手町 4
0770 (52)0137
FAX 0770 (53)9004
大野通信部
0779 (66)2504
FAX 0779 (65)3182
丸岡通信部
0776 (66)0734
FAX 0776 (67)7850
三国通信部
0776 (82)0361
鯖江通信部
0778 (51)1811
FAX 0778 (54)9050
勝山通信部
0779 (88)0591
FAX 0779 (87)1893
ニュースは 上の電話へ
読者応答室
052(221)0800